ミムス

タール作　木本栄訳　小峰書店

宿敵だった敵国との戦争が終わった。和平の祝宴に列席するため、モンフィール王国の十二歳の王子フロリーンは故郷を発つ。しかし、すべては罠だった。王子は敵に捕まり、宮廷道化師ミムスの弟子にされてしまう。

先に父王が囚われているため、逃げることはできない。家畜以下の扱いを受け、飢えと絶望に苦しみながら、生き残るために敵の笑いをとる屈辱の日々。父王の処刑の日は刻々と迫ってくる。

フロリーンは父王を救い、再び故郷へ戻ることができるだろうか。